東海心理学会第67回大会論文集原稿作成要領

—発表論文原稿作成要領，原稿の送付，発表内容について—

○東海　太郎1・聖徳　花子2

（1岐阜聖徳学園大学教育学部・2岐阜聖徳学園大学国際文化研究科）

Key words: 〆切3月30日，原稿サイズＡ４判，PDF形式ファイルのe-mail投稿

はじめに

　本大会では，大会参加および発表申込の事前手続きは行いません。発表される方は，PDF形式に変換した発表原稿を大会論文集担当（toshin67@gifu.shotoku.ac.jp）まで添付ファイルで送付してください。提出期限は，2018年3月30日（金）です。

　第2号通信（大会プログラム・発表論文集）は，2018年5月下旬頃にお送りする予定です。

発表論文原稿作成要領

　この案内は以下で示す要領で作成されています。発表論文の原稿は，この要領で作成してください。

1.論文の作成

　日本心理学会発行「執筆・投稿の手びき」2015年改訂版などを参照して，原則として研究の目的，方法，結果，考察，文献などの各項目に分けて記述し，科学論文の要件を満たしてください。連続発表の場合にも，それぞれの発表が完結した論文であることが必要です。

2.原稿用紙と記入方法

　この論文集原稿作成要領は，下記3に示すレイアウトで作成されています。

　(1)原稿の大きさ　原稿はＡ4判1ページです。出来上がりの論文集もＡ4判となります。

　(2)レイアウト　原稿の記述はパソコンのワープロソフトを使用し，モノクロで作成してください。文字のポイント数は9ポイントです。原稿レイアウト（Figure 1）を参考に作成してください。文字数は27文字×本文52行（総行数59行×2段）としてください。左右上下の余白，段間等の値はFigure 1を参照してください。本文の総文字数は2808字となります。

3.レイアウト

　(1)題目（主題）　第1行に，18ポイントまたは4文字分を1文字に使用してください。

　(2)題目（副題）　第2行に9ポイントで書いてください。副題がない場合は，第2行を空けてください。

　(3)氏名　第3行に記入し，連名の場合には口頭発表者の氏名の前に○印をつけてください。

　(4)所属　第4行に，氏名の下に括弧でくくって記入してください。連名の場合，発表者の所属が同じであれば１つだけ記入してください。所属が大学の場合には学部あるいは研究所名まで記し，大学院生は研究科名を記入してください。連名者が多数の場合は，一般に通用する略称を用いても差し支えありません。

　(5)キーワード　第5行に3個以内で記入してください。

　(6)第6行　空けてください。

　(7)本文　上記の行数やポイント数に若干変更があっても，本文は必ず第7行目から書き始めてください。

　(8)引用文献　本文の最後に書いてください。

　(9)原稿の最終1～2行　発表者全員の氏名をローマ字（例：TOKAI Taro, SHOTOKU Hanako）で記入してください。

　(10)原稿のレイアウト図　Figure 1を参照してください。

4.図・表

　(1)図・表の合計面積　全体の1/3を超えないようにしてください。

　(2)モノクロ　発表論文集は2色（白黒）での印字となります。原稿をお送りになる前に一度白黒印刷し，図表の鮮明度をご確認ください。

原稿の送付について

　原稿はPDF形式に変換されたものをe-mailで大会論文集担当（toshin67@gifu.shotoku.ac.jp）まで添付ファイルで送付してください。その際，件名は「東海心理学会第67回大会発表申し込み◯◯◯◯」（◯◯◯◯は発表者名）とし，メール本文には，a)発表タイトル，b)発表者氏名，c)所属，d)発表希望領域（A原理・行動，B発達・教育，C社会・人格，D臨床・障害，E認知・記憶）をご記入ください。原稿の受理を確認次第，折り返し「原稿受理」のメールを返信します。数日経っても返信がない場合は，申し訳ございませんが，大会準備委員会までご連絡ください。

　詳細は以下の大会HPでご確認ください。

　URL: http://www.ha.shotoku.ac.jp/kyouiku/adelie/toshin67/

発表に関するお問い合わせ先

準備委員会事務局（岐阜聖徳学園大学　安藤史高研究室）

E-mail: toshin67@gifu.shotoku.ac.jp

＃連絡はe-mailをご利用ください。

20mm

16mm

16mm

5行

本文

本文

52行

27文字

(Name)

20mm

Key words

１行空ける

題目

　-副題-

氏名

（所属機関）

　　Figure 1 原稿レイアウト（A4判用紙）